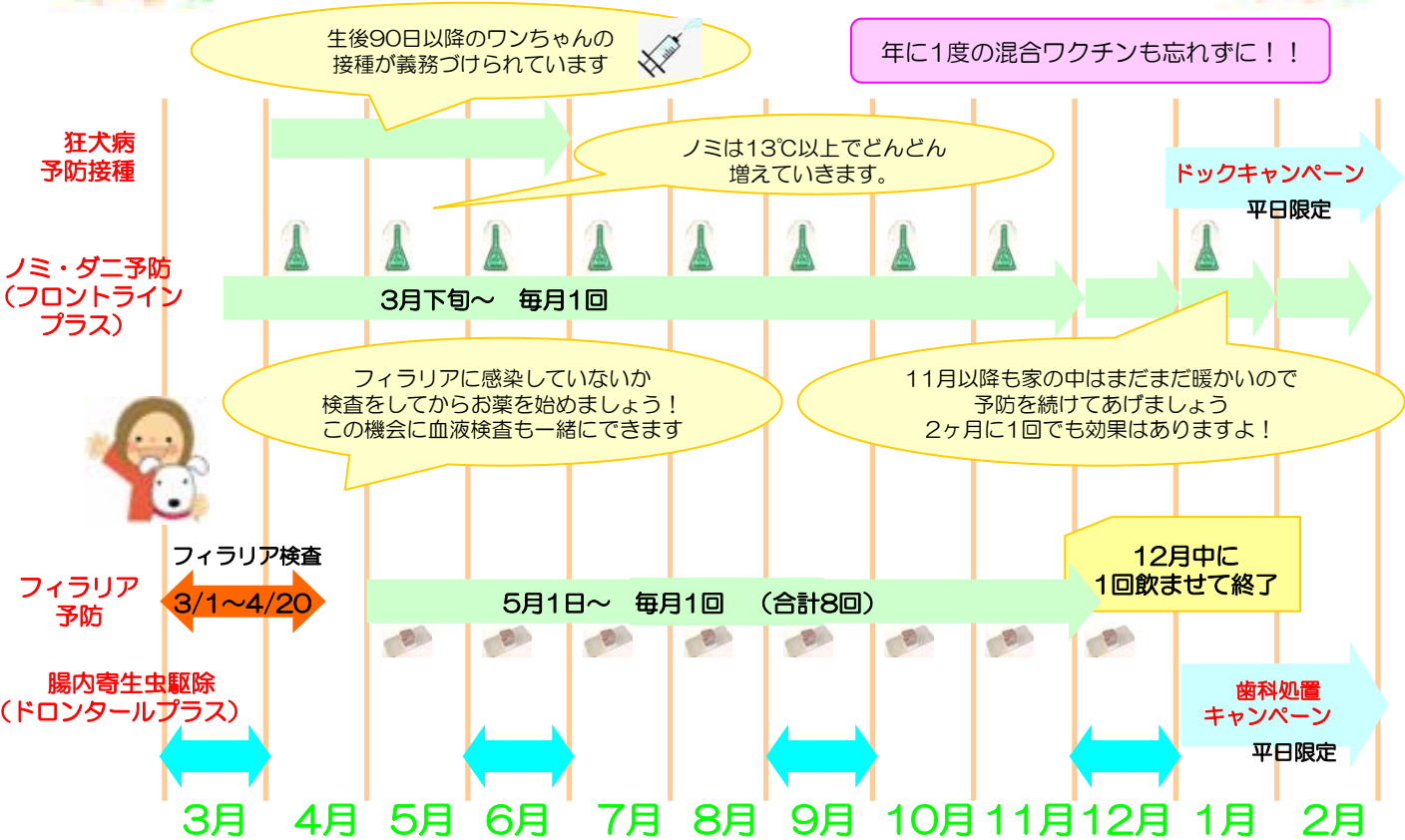


ワンちゃん予防プログラム (ズーノーシスコントロール)



ズーノーシスとは

人獣共通感染症、「ペット感染症」とも呼ばれ、ワンちゃんネコちゃんなどの動物から人に感染することがある病気のことです。その原因は、動物に寄生する寄生虫や病原菌です。

●**狂犬病予防接種**・・・発症するとほぼ100%死に至るといいう感染症です。感染している動物の咬み傷から感染します。日本では法律で年に1回の予防接種が義務づけられています。

●**フロントライン**・・・ノミ、マダニ、シラミ、ハジラミの駆除をします。ノミは13℃以上で活動してしまうため、春先から12月位まで、できれば通年投与をお勧め致します。

・ノミ：アレルギー性皮膚炎、痒み、貧血、細菌の2次感染など

・マダニ：貧血、皮膚の損傷、細菌感染、アレルギー、様々な病原体の媒介などを引き起こします。

●**フィラリア症予防薬**・・・蚊に刺された所からフィラリアの幼虫が侵入し、成長を続けて心臓や肺に入って成虫になり、心臓病を引き起こします。治療が遅れると、命に関わる病気です。蚊を見かけるようになった翌月から蚊を見かけなくなった翌月（5～12月）まで毎月1回欠かさず最後まで飲み続けることが大切です。

●**ドロンタルプラス**・・・回虫、鉤虫、鞭虫、瓜実条虫の駆除をするお薬です。腸内寄生虫の感染に対して、3ヶ月に1回の定期駆除をお勧めしています。

・回虫：幼虫がカラダのどこに侵入するかで症状は違いますが、主に発熱や全身の倦怠感、食欲不振などがあります。

・鉤虫：体長約1～2cmの白い吸血性の寄生虫が小腸内に寄生して、おもに下痢や貧血といった症状を起こします。

・鞭虫：長さ5～7cmぐらいの寄生虫が、おもに盲腸に寄生して、貧血、腸炎、栄養不良などを起こします。

・条虫：ノミを食べることで感染します。重症では出血性の腸炎を起こすことがあります。